

平成 28 年度

**全国学力・学習状況調査の
結果について**



海老名市立社家小学校

全国学力・学習状況調査について	P. 1
「国語に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 2
「算数に関する調査結果」と「今後の具体的な取組」	P. 3
「児童質問紙の結果より」と「今後の具体的な取組」	P. 4
ご家庭で取り組んでいただきたいこと	P. 5



資料 学習・生活習慣と学力との関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。
(教科に関する調査、児童・生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

- ・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げうれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起きている問題や出来事に関心がある
- ・新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家からは、授業参観や運動会などの学校行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある
- ・学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

- ・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が短い

全国学力・学習状況調査について

全国学力・学習状況調査は、平成 19 年度に始まった全国一斉の調査です。平成 22～24 年度は抽出調査（平成 23 年度は震災の関係で実施を中止）でしたが平成 25 年度から再び、全国すべての小中学校が対象となりました。

◆ 調査の目的

- (1) 児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

◆ 調査の対象

国・公・私立学校の以下の学年、原則として全児童生徒

- ・ 小学校第 6 学年
- ・ 中学校第 3 学年

◆ 調査内容

(1) 教科に関する調査

【小学校】

国語 A・算数 A (主として「知識」に関する問題)
国語 B・算数 B (主として「活用」に関する問題)

【中学校】

国語 A・数学 A (主として「知識」に関する問題)
国語 B・数学 B (主として「活用」に関する問題)

「主として『知識』に関する問題」とは？

これからの学習や生活をしていく上で、確実に身につけておかなければならない基礎的な力を調査する問題

「主として『活用』に関する問題」とは？

身につけた基礎的な力を生かして様々な問題を解決したり、工夫して生活したりする力を調査する問題

(2) 児童生徒に対する質問紙調査

学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問

(3) 学校に対する質問紙調査

指導方法や取組、人的・物的な教育条件の整備の状況等

◆ 調査実施日

平成 28 年 4 月 19 日 (火)



国語に関する調査結果

国語 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 目的や意図に応じて、収集して得た情報を整理する。
- 目的に応じて、資料から必要な情報を取り出し関係づけて読む。
- 平仮名で表記されたものを、ローマ字で書く。

《努力を要する所》

- 漢字を正しく読んだり書いたりする。
- 登場人物の人物像について、複数の叙述を基に捉えて読む。
- 書写の学習において、用紙全体との関係に注意し文字の大きさや配列などを決める。

国語 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 目的に応じて、質問内容を工夫しながら整理する。
- 目的に応じて、本や文章を比べて読むなど効果的な読み方を工夫する。
- 無解答率が低く、問題を解こうとする意欲がある。

《努力を要する所》

- グラフを基にわかったことを的確に書く。
- 目的や意図に応じて、表を基に自分の考えを書く。
- 目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読む。

これまでの取組から

- 話す力・聞く力を高めるために、常に話し手の意図を捉えながら聞くことの指導や自分の考えを伝える機会の充実に力を入れてきたが、まだ課題が残るため継続して行っています。
- 読む力を高めるために、様々な文章(新聞記事など)に触れる機会をさらに増やします。
- 書く力を高めるために、学習の振り返りをノートに書く、決められた条件で文章を書く、自分の考えを書くなどの取組を継続して行います。

今後の具体的な取組について

- 読む力を高めるために、読書活動(学級文庫の充実・朝読書など)を充実させます。
- 総合的な学習の時間などにおいて、目的や意図に応じて、自分の考えを伝えたり、話を聞いたりする指導を行うことによって、その力を向上させます。
- 社会や理科で、情報を活用することに必要性を感じられる授業を実施します。
- 意見や感想を書く機会を多く設定し、書くことに対する苦手意識をなくします。

算数に関する調査結果

算数 A

(主として「知識」に関する問題)

《優れている所》

- 繰り下がりのあるひき算ができる。
- わり算の確かめの方法を理解する。
- 三角形の底辺と高さの関係について理解する。

《努力を要する所》

- 小数のたし算の計算をする。
- 小数のわり算の計算をする。
- 百分率で表された場面を的確に読み取る。

算数 B

(主として「活用」に関する問題)

《優れている所》

- 図形を構成できた理由を角の大きさを基に論理的に考え、説明することができる。
- 無解答率が低く、問題を解こうとする意欲がある。

《努力を要する所》

- 日常生活の事象を数理的に捉え、式に表現することで、能率的に処理したり合理的に判断したりする。
- 日常生活の問題解決に向けて、必要な情報を収集し、目的に応じて表やグラフを用いて表したり、適切な判断をしたりする。
- かけ算やわり算の意味について理解し、それらを日常生活の問題解決のために、用いる。

これまでの取組から

- 基礎基本の定着を図るために、朝自習や家庭学習などで、児童は意欲的に練習問題に取り組んできたが、まだ定着が図られているとは言えません。今後も繰り返し学習させます。
- 問題を解決する時、その根拠となる理由を言葉・数・式・図・表・グラフなどを用いて説明する活動を今後も低学年から系統的に取り入れていきます。

今後の具体的な取組について

- 計算力に課題が見られるので、計算タイムを充実させます。
- 既習の学習内容を使って、自力解決を図ることができる指導を行います。
- 目的に応じて表やグラフを用いて表したり適切に判断したりする力に課題が見られるので、他教科でも表やグラフを読み取らせる学習を実施します。



児童質問紙の結果より

学習について

○算数への学習関心意欲が高い。

「算数の勉強は好き+5.2」「問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法を考える+3.8」「もっと簡単に解く方法がないか考える+9.3」「問題の解き方や考え方がわかるようにノートに書いている+3.3」

○考えを表現することに課題がある。

「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていた+8.1」「友達の話最後まで聞くことができる+3.9」「友達の前で自分の意見を発表することは難しいとは思わない+10.9」は評価できるが、学習状況として「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意-6」「友達との間で話し合う活動をよく行っていた-3.7」は課題。

○国語の学習関心意欲に課題がある。

「読書は好き+3.4」だが、「国語の勉強は好き-4.1」「国語の授業の内容はよくわかる-11.3」「目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている-16.3」「文章を読むとき、段落や話のまとめりとともに内容を理解しながら読んでいる-13.7」

○家庭学習の取り組み方に課題がある。

家で宿題をしている児童は98.3%いるが、「自分で計画を立てて勉強している-18.2」「家で学校の授業の復習をしている-7.7」「学校の授業以外に1時間以上勉強をしている-21.8」

全国平均値と比較し、3%以上数値が高いもの(+3)を評価できる、3%以上数値が低いもの(-3)を課題があるとし、本校の6学年児童の特徴を捉えました。

生活について

○家庭でのコミュニケーションがとれている。「家の人と学校での出来事について話す+3.8」「家の手伝いをする+8.7」

○規範意識が高い。

「学校の決まりを守る+5.2」「いじめはどんなことがあっても悪いことだ+3.4」

○学校生活が充実している。

「学校で好きな授業がある+4.8」「学校で友達に会うのは楽しい+3.8」「学級みんなで協力して何かやり遂げ、うれしかったことがある+3.5」

○自尊心に課題がある。

「難しいことも失敗を恐れずに挑戦している-8.3」「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う-9.7」

○テレビ・ビデオ・テレビゲームの視聴時間に課題がある。

「普段2時間以上見ている+9」「普段1時間以上テレビゲームをしている+9.5」

○地域への関心に課題がある。

「地域社会で起こっている問題や出来事への関心-13.0」「地域社会のボランティア活動への参加-26.9」

これまでの取組から

○学校生活全般で、自分の考えを表現する活動や指導を工夫したことにより、「発表の機会は与えられている」「発表は難しくはない」と回答しているが、さらに、「発表は得意である」と自信が持てるような指導が必要です。

○宿題を出すことで家庭学習の習慣はついているが、自主的計画的な学習に至っていません。

今後の具体的な取組について

- ・学習のめあてを示して主体的に学習できるようにし、授業の最後には内容の振り返りを行うなど、「わかる授業」づくりをめざします。
- ・各学年の発達段階に応じた家庭学習のあり方を示し、保護者と連携しながら、家庭学習の充実に努めます。



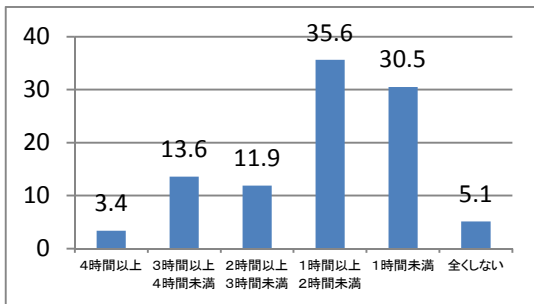
ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成28年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい5つの項目」をまとめました。できることから、ぜひ、始めてみてください。

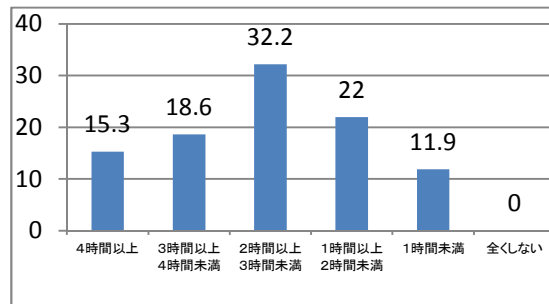
1 テレビを見たりゲームをしたりする時間は大丈夫ですか？ 親子で話し合い、ルールを決めましょう。

家の中でテレビを見たりゲームをしたりして時間を過ごすのではなく、外に出て、体を動かすことで、十分な睡眠がとれ学習に集中したり、体力が向上したりすることにつながります。

普段、一日当たりどれぐらいの時間、テレビゲームをしますか。



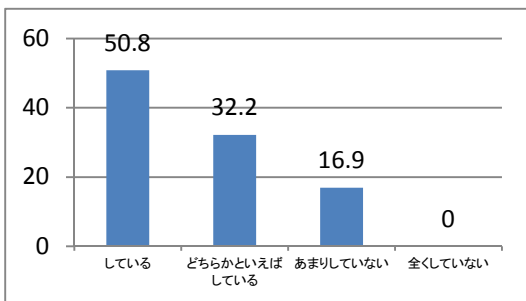
普段、一日当たりどれぐらいの時間、テレビやビデオ・DVD を見ますか。



2 家庭でのコミュニケーションを大切にしましょう。

家族とのコミュニケーションをはかることで心の安定を生み、学習意欲の高まりにつながります。

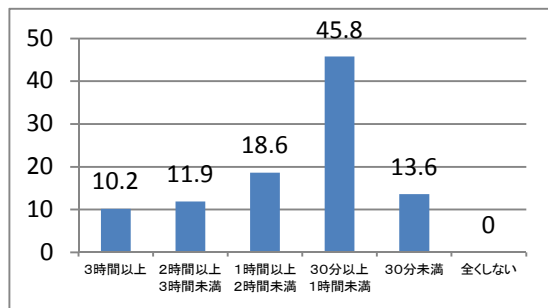
家の人と学校での出来事について話しますか。



3 家庭学習の習慣を身につけましょう。(10分間×学年)

宿題の確認や励ましの声かけをお願いします。計画的に継続して取り組みましょう。

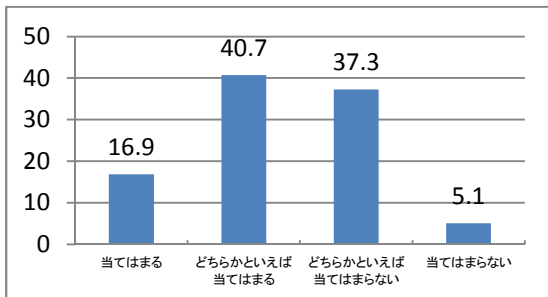
普段、授業以外にどれぐらいの時間勉強しますか。



4 地域との関わりを深めましょう。

家族で地域の出来事を話題にすることが、地域の良さを知る機会になります。

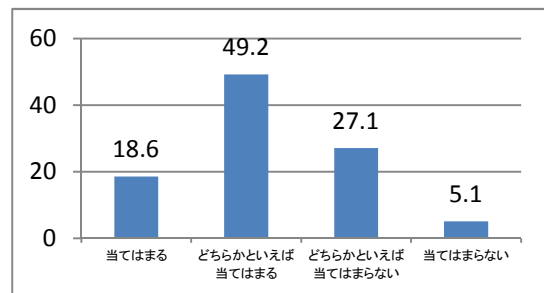
地域や社会で起こっている問題や出来事に
関心がありますか。



5 成功体験が次の挑戦への意欲につながります。

励まされたり、頑張ったことを認められたりすることで、達成感を味わうことができ、自信を高めます。

難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦して
いますか。





平成 28 年 11 月